

延岡市地球温暖化対策実行計画（地域脱炭素化促進事業編）

～延岡の豊かな自然を守り、地域と共生する再生可能エネルギー事業を推進～

1. 計画策定の背景と目的

世界で異常気象が頻発し、延岡市も「2050年カーボンニュートラル宣言」を実施しました。

- ➡この目標達成には再生可能エネルギー（再エネ）の導入が不可欠ですが、一方で大規模な再エネ開発による、自然環境や生活環境への影響に対する懸念が高まっています。
- ➡そこで、延岡の豊かな大自然を保全しつつ、地域住民の理解を得ながら地域と共生する再エネ導入事業を促進するため、本計画を策定しました。

2. 延岡市の温室効果ガス削減目標と基本戦略

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、延岡市は2030年までに温室効果ガスを2013年度比で50%削減する目標を掲げています。この目標達成には、現状の約2倍にあたる再生可能エネルギーの導入が必要です。

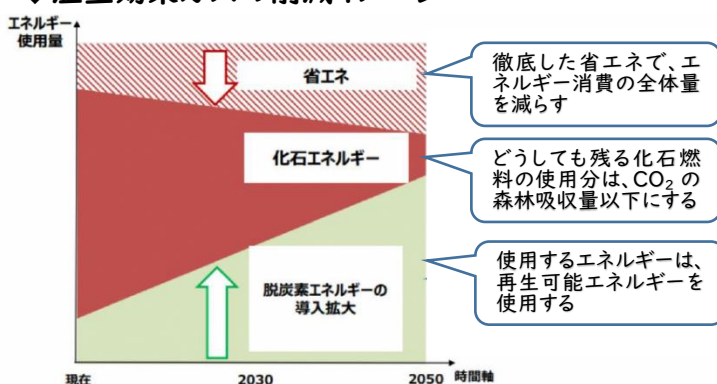
【目標】

- 2050年：カーボンニュートラル達成！
- 2030年：温室効果ガス50%削減
(2013年度比)

【5つの基本戦略】

- ・徹底した省エネ
- ・電力の再エネ化
- ・燃料の転換
- ・森林吸収源対策
- ・電力の地産地消

◆温室効果ガスの削減イメージ



【再エネ導入目標量】

出典：資源エネルギー庁（2050年カーボンニュートラルの実現に向けた検討）

年度	2020年度（現状値）	2030年度（目標）
設備容量	64.6MW	177.1MW
発電電力量	84GWh/年	158GWh/年

3. 地域との共生に向けて

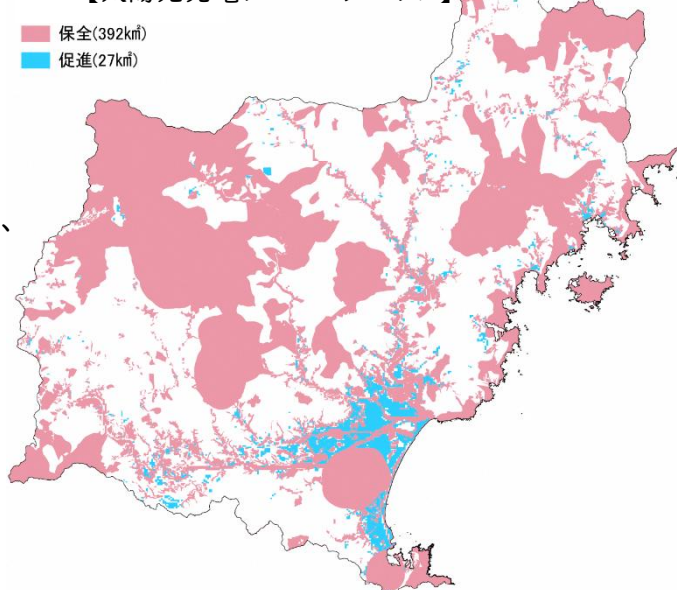
延岡市は、国や県の基準に加え市の判断も踏まえ、環境保全を優先する「保全エリア」を定め、無秩序な開発を防ぎ、生活環境や自然環境との調和を図るための「促進区域」を設定しました。この促進区域内で、一定規模以上の太陽光や陸上風力発電施設の導入を推進します。

「促進区域」の設定により、安全面、防災面、景観、環境への影響といった懸念を未然に防ぎ、延岡の豊かな大自然が保全されます。これにより、地域住民の理解を得ながら、地域と共生する再エネ事業の導入が促進されます。

■エリア区分ごとの「太陽光」の導入ポテンシャル

区分	年間発電電力量 (GWh/年)	面積 (km ²)
保全エリア	631 (51%)	392 (45%)
配慮エリア	229 (18%)	449 (52%)
促進エリア	387 (31%)	27 (3%)

【太陽光発電ゾーニングマップ】



【計画に関するお問い合わせはこちらまで】

延岡市 市民環境部 脱炭素政策室
電話：0982-20-7204（平日 8:30～17:15）